

## 「ポリモルフィア」創刊10年目を迎えて

上瀧, 恵里子  
九州大学男女共同参画推進室 : 教授

青木, 玲子  
公正取引委員会 : 委員

武内, 真美子  
愛知学院大学経済学部 : 教授

山下, 亜紀子  
九州大学大学院人間環境学研究院 : 准教授

<https://hdl.handle.net/2324/7347451>

---

出版情報 : ポリモルフィア. 10, pp.22-33, 2025-03-21. Office for the Promotion of Gender Equality, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :





授)でした。ポリモルフィアVol.2の巻頭言に井上先生ご自身が経過をまとめられています。私の役目は同号に掲載されている配偶者帯同雇用とGendered Innovationに関するシンポジウムの手伝いでした。登壇いただいた(以下当時の職名)スタンフォード大学Londa Schiebinger教授、科学技術振興機構(JST)渡邊美代子副理事、朝日新聞高橋真理子編集委員、日本大学大坪久子上席研究員、三重大学小川真里子名誉教授のご講演や討論の様子は抄録が掲載されているVol.2の特集をご覧ください。

ポリモルフィア創刊後の10年を振り返ってみると女性研究者の研究支援、育児支援、託児所などは九州大学をはじめ全国の各大学で整備されてきました。女性教員比率も増大し、管理職の女性も増えつつあります。しかし、大学入学前の若い世代に目を向けると、日本の女子生徒は中学ま

ではSTEM科目が国際的な比較でも優秀であるのに、大学での女子生徒のSTEM分野への進学はまだまです。最近の研究では高校での進学指導など大学入学前での啓発(差別やUnconscious biasへの対応も含む)への資源投入が起きてきました。

九州大学は地域の中心的な大学であり、九州全域をはじめ全国から、あるいは近隣諸国から優秀な学生がアクセスしやすいという立場にあります。STEM分野への女子学生の進学促進や、女性研究者の活躍推進のための現在の取り組みをさらに広く、深く発展させることが期待されます。

私は現在女性研究者支援よりは、公務員の男女参画が課題の環境にいます。しかし、今年度は日本経済学会会長として、女性研究者の支援の前線に関与しています。あらためてポリモルフィア創刊のころの経験と課題を考えています。ポリモルフィアを読み続けながら、これから先の10年の進展に大いに期待し、見守っていききたいと思います。

(挿入図等は編集委員会による)



文部科学省科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ・研究環境改善イニシアチブ」九州大学男女共同参画推進室主催

Symposium for  
**Diversity Initiatives and Gendered Innovations**  
多様性の推進と性差に着目した科学技術革新

日時: 2016年 3月18日(金) 13:00~17:10  
場所: 九州大学医学部百年講堂 (福岡市東区黒出3-1-1)  
\*参加費無料、日英同時通訳有

国際的に活躍し、科学技術のイノベーションにも影響を与える研究者であるシービンガー教授をお招きし、多様性の推進と性差に着目した科学技術革新についてのシンポジウムを開催致します。この分野の先駆者による講演と討論を行い、「配偶者帯同雇用」と「ジェンダー・イノベーション」に関する理解を深めます。

プログラム: 13:00~ 開会挨拶  
13:05~ 第1部「配偶者帯同雇用の現状と可能性」  
基調講演 Prof.Londa Schiebinger  
パネル討論 司会 朝日新聞 編集委員 高橋真理子  
パネリスト Prof.Londa Schiebinger  
JST副理事 渡辺美代子  
日本大学 上席研究員 大坪久子  
九州大学 副理事 井上真理

15:00~ 第2部「Gendered Innovationsが拓く明るい未来」  
基調講演 Prof.Londa Schiebinger  
朝日新聞 編集委員 高橋真理子  
パネル討論 司会 三重大学 名誉教授 小川真里子  
パネリスト Prof.Londa Schiebinger  
JST副理事 渡辺美代子  
朝日新聞 編集委員 高橋真理子  
九州大学 歯学研究院 溝上薫子  
九州大学 芸術工学研究院 小崎智昭

17:05~ 閉会挨拶

■お申込・お問合せ  
九州大学男女共同参画推進室  
URL: <http://danjyo.kyushu-u.ac.jp>

Prof.Londa Schiebinger  
ロンダ・シービンガー教授  
米国スタンフォード大学医学部第5部の  
ジェンダー・イノベーション科学教授  
経済学・社会学、健康政策、工学と産業界における  
多様性の推進と性差に着目した科学技術革新

2016年 シンポジウム フライヤー